

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援トレーニングらんぱす		
○保護者評価実施期間	令和7年 6月 1日		令和7年 6月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和7年 6月 1日		令和7年 6月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 7月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本格的なスポーツ活動の実施	体育館やスポーツ施設を使用し実施している。基礎体力の向上はもちろん仲間とのつながりなどのチームワークも大切に行っている	定員があるのですべての利用者様が参加できないので長期休みにもスポーツ活動を積極的に取り組んでいく
2	他事業所(高齢者・精神障がい、作業所)との連携	長期休みを利用し他事業所に訪問し、交流を図らせてもらっている。	活動中にお土産作りなどを行いそれを先方様へお渡しすることで更なるコミュニケーションを図っている。また、今年からは就労に関わる事業所へ見学を行う予定である
3	地域の行事に積極的に参加	活動中に作成した工作、絵画、アクセサリー作りなどを地域の行事の際に展示を行っている。その際に利用者様にも積極的に参加をして頂き地域の方とのふれあいに役立っている。	情報を的確に察知し行事に取り組んでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動に参加していない保護者様への周知	多くの保護者様に参加いただけるように情報を提供していきたい	保護者様の参加可能な活動については早目に周知をしていく
2	保護者会の開催、研修について	保護者様が抱えているお困りごとに対応していきたいが、どの方も同じお困りごとではなくどんな開催方法がベストなのか。また働いている方が多いので開催時間や曜日等も検討していかなければならない	まずは個人で参加できる茶話会などを実施し個人の意見を吸い上げた上で、開催方法を検討していく
3	音楽によるアプローチ	童謡等をつかつての手話等には取り組んでいるが、流行歌(利用者様が気軽に楽しめる)への対応ができていない	もっと気軽に楽しめる音楽を使つてのレクリエーションができるようにスタッフの研修参加に力を入れる